

秘伝のタレ1（ラインセラピー）

ラインセラピー療法を整体法で調整

それでは、今回秘伝のタレとして、ご紹介する技法はフラクタル（相似形理論）とゾーンセラピーです。

このフラクタルとゾーンセラピーの2つの秘伝のタレを掛け合わせた、ラインセラピー療法をお伝えしていきます。

「思考が現実化する」という言葉は、フラクタル心理学だけでなく、昔から色々な場所で見聞きすることがあるのではないかと思います。

確かに、思考は100%現実化します。

潜在意識哲学

「相似の理論」とは東洋医学の哲学で、「形が似ているものは、性質も同じである。」というもの。

よく言われる例では、胡桃（クルミ）は脳に似てますよね！

そのため、胡桃を食べると頭が良くなると言われています。

胡桃には、多くのメラトニン成分が含まれています。

脳から分泌されるホルモンのメラトニンは生体リズムの眠りを促す調整作用があります。

この相似性（フラクタル）を秘伝のタレとし、

そのフラクタルにゾーンセラピー、反射区理論、経絡理論、ホリスティック理論の4つの優れた部分を注ぎ足し、取り入れた調整法が今回ご紹介するラインセラピーです。

先人達が数千年の歴史の上に積み重ねて来た知恵に、新たな知恵をプラスした療法を潜在意識に落とし込んで学んで下さい。

このような方法は先生の数だけ存在することになりますが、ただ浅漬けのような味にするか？発酵して深みの味にするのかは、あなた次第です。

時代と共に変化し、〇〇流として秘伝のタレの味を流派ごとに変え存在していますので、ご自分が納得いく療法に出会えるように願っております。

今回は私の調整法の土台となっている手・足・頭の**抹消法**の部位にフラクタルを使います。

今回は頭のフラクタルを使用しますが、これも先人達の意識が積み込まれた調整法です。

それでは、ラインセラピーの基礎となるフラクタルを順に説明していきましょう。

フラクタル (頭蓋骨)

頭蓋は、15種22個の骨から構成されています。(頭蓋骨に描かれたドクロ[👤]模様が縫合と言います)



色分けした界の線が縫合で、全部で22個あります。

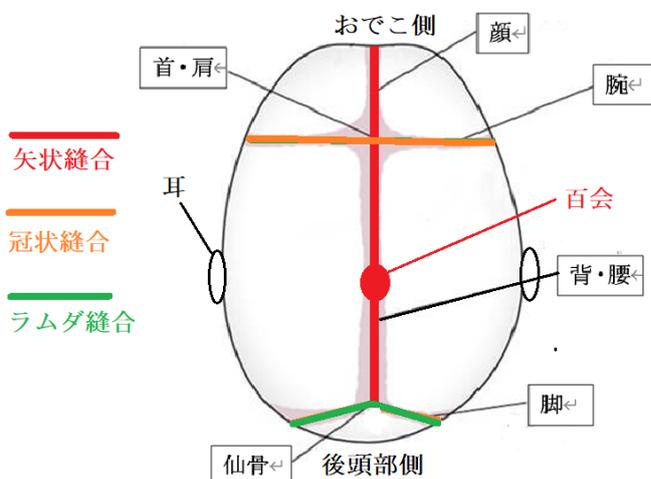
1. 縫合位置の確認 (15種のうち3つを使います)

まず、「**百会**」を探して下さい。百会は頭の頂上に位置します。左右の耳の穴を結んだラインと眉間の中心から頭のとっぺんに向けたラインが頭上で交わる場所があります。人によっては、少し凹んでいてブヨブヨしているので探しやすいと思います。

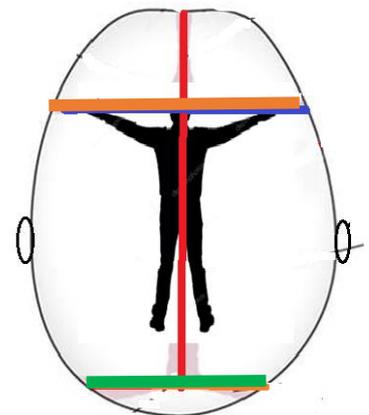
①矢状縫合：^{ブレグマ}大泉門 (百会より指4本前) ⇔ ^{ラムダ}小泉門 (後頭部凸より指3本上)

②冠状縫合：^{だいせんもん}大泉門 (百会より指4本前) ⇔ こめかみ

③ラムダ縫合：^{ラムダ}小泉門 (後頭部凸より指3本上) ⇔ 乳様突起 (耳たぶの位置の骨)



フラクタル



2. 縫合圧痛の確認

ご自分の辛いところを頭のフラクタルに当てはめて下さい。

例えば首が痛いとする、赤と青の交わるあたりに反応 **✖** (圧痛、図1) があります。原因と結果は異なりますので、反応 (図2 **✕**・図3 **✕**) にも出ます。

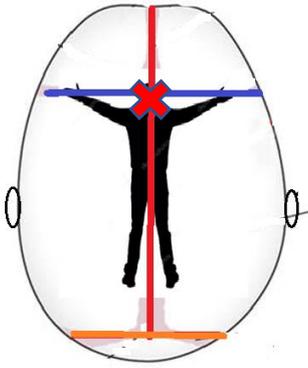


図1

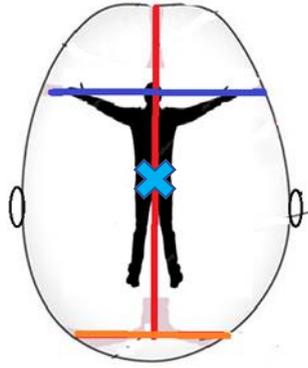


図2

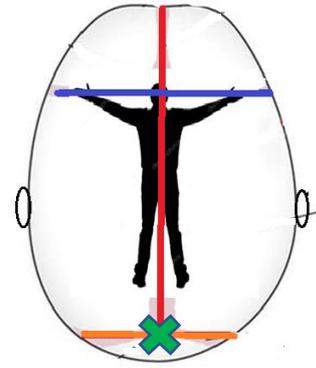


図3

3. 縫合調整法

赤・青・橙 3つのラインを指の第二関節を使い※1 反応 (圧痛) を確認します。

ラインをまたぐように扱く (押しながらこする)

※1 反応は、痛みの他に気持ちよさや他と違った感覚として現れます。

圧痛が確認されましたら、その場所を10秒間3セット目安に扱いて下さい。

皮膚を傷めないように響くかを確認する程度で行い、摩擦による痛みを発生させないように注意して下さい。

4. 首の痛み確認

首の痛みを確認してみてください。

痛みが楽になるか消失するかを確認。

痛みが楽になっても、再発防止のため2~3日は続けて下さい。

次回は秘伝のタレ2にゾーンセラピー

そしてフラクタルとゾーンを融合したラインセラピーをご紹介します。